

第4回 福岡県ワンヘルス国際フォーラムを開催しました



令和6年2月17日(土)、福岡市のアクロス福岡・国際会議場にて「第4回 福岡県ワンヘルス国際フォーラム」を開催しました。

今回のワンヘルス国際フォーラムは、「ワンヘルスによるウェルビーイングの実現」をテーマに、人と動物の共通感染症や薬剤耐性菌等の課題について、各分野の世界トップクラスの研究者がワンヘルスアプローチにより解決することを目指し、取り組むべき内容や連携の在り方について発表するとともに、その先にあるウェルビーイングの実現について考え、世界に向けて発信するために開催しました。

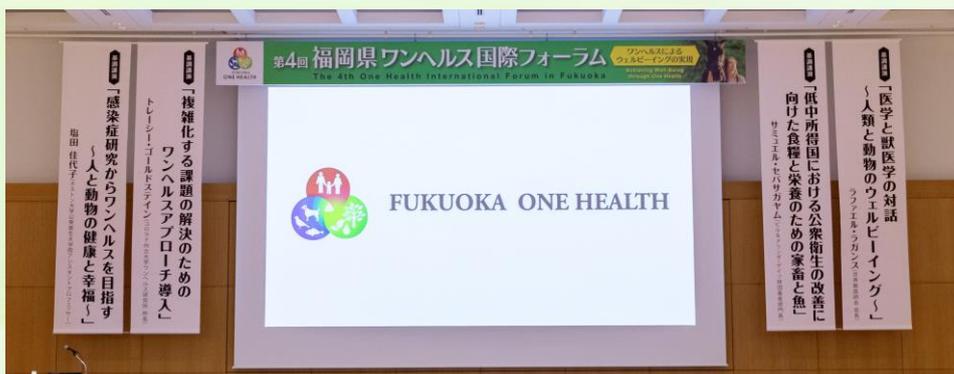


福岡県医師会会長
蓮澤 浩明

福岡県知事
服部 誠太郎

FAVA ワンヘルス福岡オフィス所長
藏内 勇夫

世界獣医師会元会長
ジョンソン・チャン





世界獣医師会会長
ラファエル・ラガンス

「医学と獣医学の対話 ～人類と動物のウェルビーイング～」

ビル&メリンダ・ゲイツ財団畜産部門長
サミュエル・セバサガヤム

「低中所得国における公衆衛生の改善に向けた食糧と栄養のための家畜と魚」

※サミュエル・セバサガヤム氏は急遽欠席となったため、ご本人のメッセージ紹介と九州大学横田准教授による解説を行った。



コロラド州立大学ワンヘルス研究所所長
トレーシー・ゴールドステイン

「複雑化する課題の解決のためのワンヘルスアプローチ導入」

ボストン大学公衆衛生大学院アシスタントプロフェッサー
塩田 佳代子

「感染症研究からワンヘルスを目指す ～人と動物の健康と幸福～」

